

Cedar シダー vol.2

TAKE FREE

大杉谷のある三重県大台町への行き方

Access Map



十年ぶりの秘境めぐりとして



大杉谷のある大台町へは、公共交通機関でのアクセスが便利です

大阪・名古屋
方面から

近鉄線にて松阪へ。
松阪駅(南口)から南紀特急バス(三重交通)にて
大台町下車。

※他、詳しいアクセスについて
は大台町観光協会ホーム
ページ web-odai.info
にてご確認ください。





Osuqi-Dami

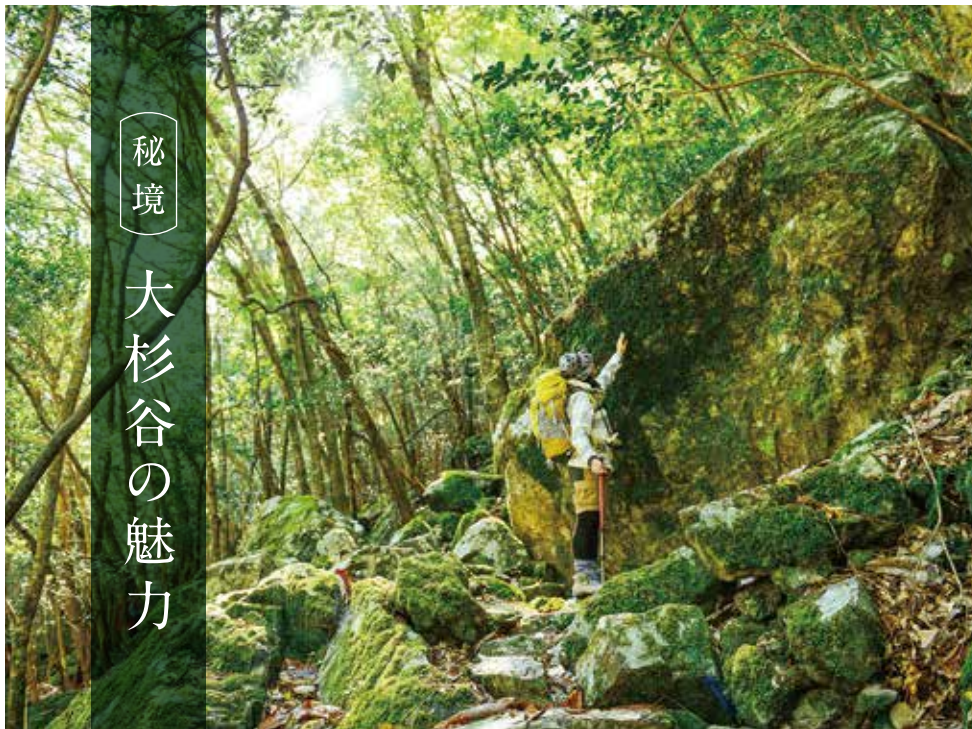
久しぶりの大杉谷
はじめての大杉谷

写真: 田里武禎衣 撮影地: シン淵(表紙)、堂倉滝(p1-2)

2014年4月、10年ぶりの登山道全線開通

深く切り立った峡谷と、多様な植物に恵まれた原生林の森。表情の異なる2つの自然美を併せ持つ大杉谷は、関西屈指の秘境です。2004年9月の台風21号によりもたらされた壊滅的な被害で、登山歩道閉鎖を余儀なくされていましたが、

2014年4月25日より登山道が全面復旧。神秘の山が10年ぶりに解禁されました。長らく閉ざされていた大杉谷最深部には、荒々しくも魅力的な新名所が登場。久しぶりの登山者、はじめての登山者の訪れを待っています。



秘境
大杉谷の魅力

自然

日本三大峡谷のひとつ。
関西の屋久島と呼ばれる
水と緑が美しい谷

富山の黒部峡谷、新潟の清津峡とともに日本三大峡谷に数えられる大杉峡谷。大杉谷はこの大杉峡谷を含む、水と緑に恵まれた秘境の山地であり、国からは「吉野熊野国立公園」に指定、世界的にも「ユネスコエコパーク」として認定されています。また、峡谷を流れるのは日本一の清流・宮川(※)。大杉谷は屋久島と比肩される多雨地帯であり、この豊かな水が、深いV字峡谷、個性豊かな滝、「嵩(くら)」と呼ばれる巨大な岩壁、美しい原生林や苔を生み出しているのです。

※国土交通省一級河川水質調査で過去11回1位を獲得



歴史

伊勢神宮の式年遷宮に
使われた御杣山

大杉谷を流れる宮川の下流は伊勢湾に達します。この地理的關係ゆえ、大杉谷は安土桃山時代から江戸時代にかけて計7回、伊勢神宮の式年遷宮の材木を産する御杣山(みそまやま)として活用されました。大杉谷で切り出された材木は、増水期の川の流れを利用して伊勢神宮まで届けられたのです。ぜひ当時の杣人の努力や工夫を想像しながら、登山道を歩いてみてください。



登山道

7つの滝と11の吊り橋、
原生林が楽しめる登山道。
ゴールは大台ヶ原!

大杉谷登山道は、三重県大台町と奈良県大台ヶ原を結ぶ中級登山道。大杉峡谷の7つの滝と11本の吊り橋を越え、原生林の森を抜けて大台ヶ原に至る、見所の多い登山道です。特に、2014年4月の全線開通まで10年間通行止めになっていた七ツ釜滝～堂倉滝のエリアは、秘境大杉谷の深部。日本の滝100選に選ばれている「七ツ釜滝」はもちろん、台風災害により生まれた新名所「崩壊地」も、登頂欲をかき立てられる絶景です。また山中には山小屋が2軒あり、1泊2日、2泊3日での登山を楽しむことができます。



カップルで行くとご利益が?!

大杉谷のパワースポット

「11本ある吊り橋を一緒に渡るうちに恋が芽生える」という噂がある大杉谷。桃の木山の家～七ツ釜滝間の登山道には、ハート石もあるので、カップルはぜひ探してみましょう。また、滝にかかる虹は山の神様からの贈り物。出会えた人はこの一年、いいことがあるかもしれませんね。





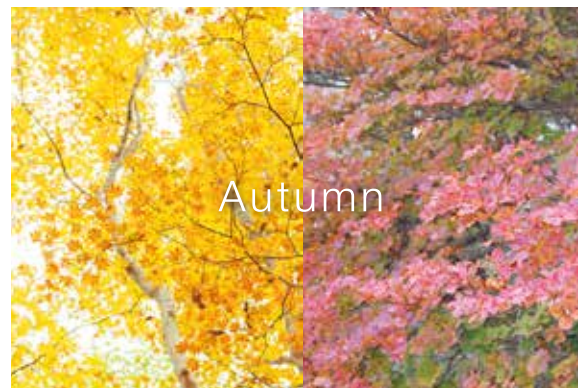
大杉谷登山道 Route Guide

ワンルートの登山道。
迷う危険は少ないけれど
アップダウンが多いため
余裕を持った登山計画を！

全長約14.1km・高低差1415mの登山道。アップダウンが多いため、足に負担がかかる下りより、上り登山がおすすめ。日帰りの通り抜けは無理なので、最低でも山中の山小屋で1泊を。宮川が流れる峡谷沿いに行く前半は、標高もさほど高くなく、水辺の美しさを堪能できるエリア。一方、後半の堂倉滝から栗谷小屋にかけての急な上り坂から、標高は一気にアップ。植物の種類もがらりと変わり、春はツツジの仲間、紅葉の季節には黄色に染まる原生林の森が楽しめます。



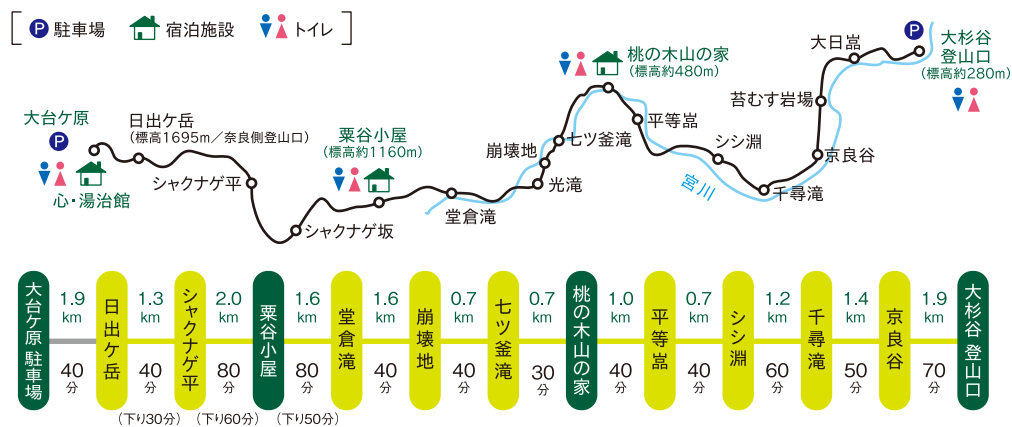
◆シャクナゲ
華やかなピンクの花が美しいツツジ科の常緑中・低木。「シャクナゲ坂」「シャクナゲ平」という地名もあるほど、大杉谷を代表する植物のひとつです。開花時期は標高500mの桃の木山の家付近で5月中旬、頂上の日出ヶ岳付近では5月下旬から6月が目安です。



◆紅葉
大杉谷登山道には、日本の植物の約1/4種が分布しています。紅葉は10月半ばから。栗谷小屋から日出ヶ岳にかけての原生林は美しいイエローに染まります。また頂上付近ではゴヨウツツジをはじめ、赤く色づいた紅葉を楽しむことができます。

大杉谷登山道 MAPと参考タイム

歩行時間 10時間10分(上り登山時)



※参考タイムは健脚の方の時間です。天候やパーティの体力が大きく変わりますので注意を！ 充分な休憩時間を参考タイムに加えて、登山計画を立ててください。

登山口までのアクセス

三重県側・奈良県側のいずれも、最寄り駅までは近鉄電車でのアクセスが便利。登山口までは駅からバスの利用となります。本数が限られているので十分に注意を。近畿・東海圏からは当日出発で充分ですが、遠方からの場合は前泊を視野に入れましょう。

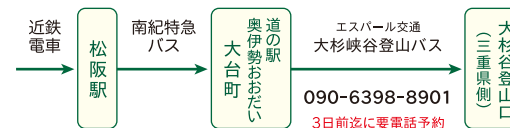


奥伊勢フォレストピア
大台町にある温泉宿泊施設。施設前に大杉谷登山バスのバス停がある。
TEL 0598-76-1200



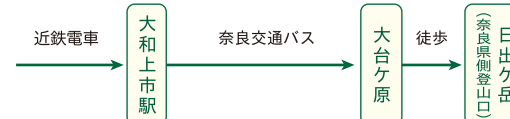
心・湯治館
大台ヶ原駐車場からすぐの場所にある山小屋。大部屋のほか個室もある。
TEL 07468-2-0120

大杉谷登山口(三重県側)へのアクセス



【大杉谷登山バス】 運賃 2500円(大人・子ども同料金/要予約)
【上り】 道の駅奥伊勢おおい 10:30発 → 大杉谷登山口 12:00着
【下り】 大杉谷登山口 12:10発 → 道の駅奥伊勢おおい 13:40着

大台ヶ原/奈良県側登山口へのアクセス



【奈良交通バス】 運賃大人2000円(予約不要・荷物料金は別途200円)
【上り】 大和上市駅9:00発 → 大台ヶ原(駐車場) 10:51着
【下り】 大台ヶ原(駐車場) 15:30発 → 大和上市 17:21着(土日17:23着)

※2014年4月現在の情報です。季節によりダイヤが改正される場合もありますので、登山前に各交通機関または大台町観光協会(TEL: 0598-84-1050)にお問い合わせください。

大杉谷登山 モデルコース

登山レベル★★★★
健脚向け

1泊2日

VS

登山レベル★★★
山ガール2年生向け

2泊3日

あなたはどちら?!

10年ぶりに登山道が

全線開通した大杉谷。

健脚なら1泊2日でも登山は可能ですが、

2日目は早足で進まなければ、

帰りのバスに乗り遅れるので注意が必要。

10年ぶりの秘境解禁エリアを

充分に楽しむなら、

2泊3日登山がおすすめです。

DAY 1 1泊2日 2泊3日

1泊2日、2泊3日コースとも、
1日目の行程は同じ。
登山バスに乗り込む前に、
道の駅でしっかりお昼を調達して!

13:00 京良谷で清流チャージ



清流宮川の河原に降りることができる京良谷。ここでのランチも素敵ですが、時間を費やすのは危険。登山慣れしていない人は、登山バス内で昼食を済ませておくのがベスト

15:00 シシ淵で記念撮影



大杉谷でも1・2を争う秘境ポイント。
清流でコーヒーを湧かす贅沢を体験しては？

Start!

9:00頃

松阪駅(南口)集合

松阪までのアクセスは
近鉄電車が便利です!!



登山口にあるポストに
登山届けを必ず提出!

※下り登山の場合は、
大台ヶ原ビジターセンターに登山届けの提出を!



12:00 登山スタート

岩壁の回廊・大日嶺から登山スタート!



10:30

「道の駅奥伊勢おおい」 から大杉峡谷登山バスに乗り

道の駅までは、松阪駅からJR紀勢本線に乗り、三瀬谷駅下車徒歩約10分で到着です。
(より早い時間帯であれば、松阪駅から三重交通・南紀特急バス乗車のうえ、道の駅の最寄りである「大台町」下車も可能です)



<登山バスは要予約>

- 予約先:エス・パール交通
- TEL:090-6398-8901(平日 10:00-17:00)
- http://es-pal.com/oosugikyokoku/



登山バス、町営バス、南紀特急バスに乗りできる道の駅

16:30

桃の木山の家到着

山の日暮れは早いので、早めの到着心がけて。ヒノキ風呂と、ボリュームたっぷりの夕食が待ってます!



15:50

平等嶺の吊り橋

吊り橋から見上げる平等嶺は、見上げると首が痛くなる絶壁!

DAY 2 2泊3日

七ツ釜滝からの区間は難所が点在。でも2泊3日なら行程に余裕があるので、六甲山や御在所岳への登山経験がある程度の初心者や年配の方でも安心です。特に秋冬シーズンは、日暮れが早いので2泊3日がおすすです。3日目は大台ヶ原をゆっくり楽しみましょう。

VS

case of 1泊2日

1泊2日で登山する場合は、七ツ釜滝～堂倉滝エリアを3時間強で突破する必要があります。堂倉滝～栗谷小屋間の急な登り坂、日出ヶ岳手前の長いS字階段は、疲れた足には辛いポイント。桃の木山の家を早朝出発するなど、しっかり計画を立てましょう！

- 7:00
桃の木山の家
出発
- 12:00
栗谷小屋周辺
到着
- 15:30
大台ヶ原バス停
から帰路へ

Start!

9:00 桃の木山の家出発

出発に余裕を持てるのも2泊3日の魅力。桃の木山の家、栗谷小屋ともに、事前予約で昼食のお弁当を用意してもらえるので利用して



10:00 七ツ釜滝

いよいよ秘境深部へ！
苔むした倒木などが、多数現れ始めるエリア



15:00 栗谷小屋到着

早めの入浴後、炉端や暖炉前でのんびりしたり、荷物を置いて原生林探索にでかけるのも楽しい。予約をすれば木工体験や川魚でのバーベキューも可能(別途料金)



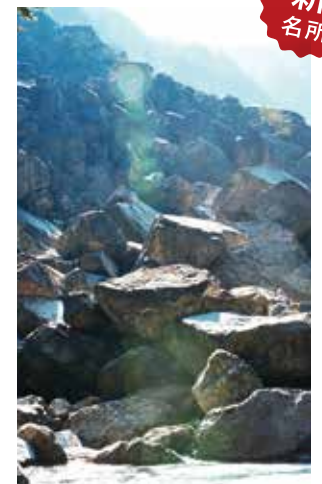
12:00 堂倉滝でランチ

シシ淵と並ぶ大杉谷の秘境。
滝を眺めながらのランチは最高！



11:00 崩壊地をロックオン

山肌が大きく崩落して誕生した新名所。ビルほどの高さに岩が積み重なる、迫力の景観！



新!
名所

DAY 3 2泊3日

Start!

9:00 栗谷小屋出発

標高1000mを超えるエリア。気温も2日目までと比べぐっと下がるのでウェアで調節を。大台ヶ原をゆっくり楽しみたい方は、早めの出発を心がけて！



10:00 原生林の森



11:00 シャクナゲ平周辺

秋は紅葉、春はシャクナゲの花が楽しめます



12:00 日出ヶ岳到着

日本百名山のひとつ日出ヶ岳からは、尾鷲の海が一望！天気がよければ富士山も見えますよ



15:30 バスにて下山

バスの時間まで、独特の景観が魅力の大台ヶ原を散策しよう！



桃の木山の家 食堂

🌲 大杉谷の2つの山小屋に泊まる

山で過ごす特別な時間

秘境をゆっくり味わいたい。だから選んだ2泊3日の登山。

夜の山は、昼間には見せてくれなかった顔をしている。

標高の異なる2つの山小屋で見つけた、私だけの大杉谷の魅力。

写真: 田里式裸衣 文: 蔵 麻子



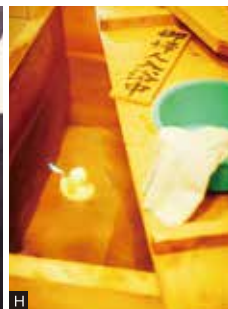
栗谷小屋



【A】【B】桃の木山の家 本館大部屋と小屋前 山小屋到着後は、部屋やフリースペースでのんびりと。ただし登山用ストーブ使用は必ず小屋の外で／【C】栗谷小屋 玄関前。ペルは宿泊客へのお知らせや見送り時に活用。なお、山中は携帯電話がつかないの注意を／【D】桃の木山の家 厨房／【E】峡谷沿いに建つ桃の木山の家。小屋の下を流れる川の水は夏場でも冷たく、水遊びに最適



流れ星の多さに驚く山の夜
願ひ事、叶うかな



【F】栗谷小屋からの夜空／【G】【H】栗谷小屋の檜の木風呂／【I】桃の木山の家は檜風呂。両山小屋とも風呂があり、薪で焚いたお湯は、体を芯から温めてくれる。湯上がりにも活用できるオリジナル手ぬぐいは、桃の木山の家売店で販売

水の音、星空がこんなに近い。秘境の山小屋、贅沢な時間

山に泊まるというのは、改めて考えると不思議な体験だ。男女複数の山友達と、大杉谷登山に訪れた。次々に現れる秘境に夢中になって、でもさすがにくたくた、というタイミングで不意に見えた赤い屋根。吊り橋を渡って山小屋に到着とは、なんとも心躍る体験だ。1泊目の桃の木山の家は、

山中にあるのが不思議なくらいの立派な山小屋だった。山小屋というと大部屋で皆と枕を並べての宿泊が当たり前だし、それが楽しいのだけど、桃の木山の家には6名までが入れる個室もある。探検したくてウズウズしてたら「お風呂がわいてますよ!」と、スタッフさん。そう、山の中なのに、ここ

には立派なお風呂があるのだ。登山の汗を流し、さっぱりした服に着替えて食堂へ。すでに乾杯中の男性陣に合流し、夕食タイム。暗闇の中、食堂の窓から光って見えたのは、カモシカの目？ 眠い目をこすりながら布団へ。峡谷を流れる川音を耳に、深い眠りについた。

2日目、七ツ釜滝から堂倉滝まで、夢中で写真を撮っているうちにあっという間に時間が過ぎてしまった。男性陣は山頂まで行く自信があったみたいだけど、2泊3日にして正解。2泊目の栗谷小屋は、個室中心で桃の木よりさらにアットホーム。気さくなオーナーが、希望者を募って穴場散策に

出かけるのを見送って、私たちは囲炉裏や暖炉、テラスでコーヒーを飲みながら、他の登山者とのおしゃべりを楽しんだ。早めに着いたはずなのに、気がつけばもう夜。小屋を一步出れば、満天の星空が降ってくる！他の宿泊客の迷惑にならないよう静かに、でも興奮しながら流れ星を待った。「願い事、何しよう」と小声で会話。星を見上げる目が潤むのは何故だろう？心の奥がほどけていく感覚。2泊3日の山で過ごす特別な時間は、自分に素直になれる時間なのかもしれない。



【J】山の水で淹れたコーヒーを。両山小屋とも無料サービス有／【K】桃の木山の家 個室／【L】桃の木山をの家の食堂の下は、風呂焚き用の薪がぎっしり

🏠 桃の木山の家

吊り橋を渡った先にある山小屋は、渓流を見下ろす佳景の立地。ヒノキ風呂のほか、夏は溪流で水浴びも楽しめる。秘境にありながら実は定員330名と関西最大級の山小屋。大部屋の他、個室(別途費用)の利用も可能。

標 高 約480m
 営業期間 4月下旬～11月下旬
 定 員 330名(要予約)
 宿泊料金 ●1泊2食 9000円 ●素泊まり 5500円
 弁当 1000円
 T E L 0597-32-2052(連絡所)
 W E B <http://www.momonokigoya.jp/>

🏠 栗谷小屋

日出ヶ岳から約2～3時間の立地にある、アットホームな山小屋。標高が高いため夏は涼しく、秋冬は暖炉を囲んでの登山者との交流が魅力。また、山中でありながら尾鷲の魚を食べることも可能。夜空の星を眺めたり、柚人でもあるオーナーとの山話も楽しい。

標 高 約1160m
 営業期間 4月下旬～11月中旬
 定 員 70名(要予約)
 宿泊料金 ●1泊2食 8800円 ●素泊まり 6000円
 弁当 900円
 T E L 0597-22-3220(事務所)

※情報は2014年4月時点のものです。詳細は各山小屋にお問い合わせください

登山ガイドさんに聞きました!

大杉谷の魅力 と 登山の注意点

大杉谷登山道本開通前から山を訪れている登山ガイドのお2人に、大杉谷登山についてのQ&Aにお答えいただきました。

庄野 初美さん *Shouno Hatsumi*

楽しい山歩き「やまとなでこ」主宰。富士山登山ガイド歴10年以上。関西・四国の山から北アルプスまで、女性ならではの目線を活かした登山ツアーを企画している。(社)日本山岳ガイド協会(JMGA)公認山岳ガイド資格取得予定(2014年夏頃)。

Yamamoto Michio 山本 道夫さん

(社)日本山岳ガイド協会(JMGA)公認登山ガイド/関西登山ガイド協会会員 ガイド歴5年。登山、岩、沢、雪山、トレラン、バックカントリーまで幅広く活動中。あまり人に遭わないマイナーな山域が好み。ガイドオフ日は、大阪梅田の登山店「ロッジ」で会えるかも!

Q. 登山のプロから見た、大杉谷の魅力とは?



「エメラルドグリーンの水と山の緑とのグラデーションが素晴らしい、他にはまずない景観が広がる登山道ですね。頑張って登った人だけにしか、この景色を味わう贅沢は味わえません(庄野)」「僕は岩登りもするので、大杉谷の巨大な岩壁はととてもそそられます。無機質な岩と植物や水とのハーモニーが素晴らしい、スケール感のある山だと思います。山中は携帯電話が通じないというのも、冒険心をそそりますよね。霧が漂う雨上がりの幻想的な風景も素晴らしいですよ(山本)」

Q. 服装や装備はどうしたらいい?

「雨が多い地域なので、上下セパレーツのレインウエアは必ず持って行くこと。6~9月にかけ雨の翌日はヒルが出やすいので、足の肌を露出しない服装で。ジーンズなど伸縮性のないボトムはNGです!アウトドアショップでヒル避けスプレーが入手可能ですが、塩や食塩水を携帯して足元にまくだけでもヒル避けになります。携帯電話やMAPの防水カバーがあると便利。トレッキングポール、グローブや、休憩用の折りたたみ座布団も疲れを軽減するアイテムです。(山本)」



春~秋の大杉谷登山の参考スタイルがこちら。山頂は標高1000mを超えるため、重ね着で温度調整できる羽織物の用意を。インナーは吸汗・速乾性のある素材の半袖または長袖をチョイス。いずれも襟元がジップタイプだと体温調節がしやすく日焼け対策にも。ボトムも吸汗・速乾・ストレッチ性のある動きやすいものを選んで。バックパックは30Lぐらいがおすすめ

Q. 大杉谷登山の注意点とは?

「万が一の遭難や滑落に備え、登山保険に加入してください。大杉谷でも年間数件の事故が発生しています。大杉谷登山センターまたは大台ヶ原ビジターセンターにて、必ず登山届けの提出を!登山道の状態が気になるときは、迷わず大杉谷登山センターに確認してください。登山MAPも登山センターで手に入ります。また、山中には写真を撮りたくなるポイントが多数ありますが、歩きカメラは危険!足元や周囲に目を配ってくださいね(庄野)」

「登山は上りの方が安全です。下りの場合は足元を見て小股で進みましょう。鎖場など狭い場所では対向者と譲りあって登山を。顔を上げ、自分が進む道を確認しながら進むと迷いません。また、雨が多い地域なので、台風シーズンは無理な登山を避けましょう(山本)」

鎖場は密集して登らず、対向者に注意を

Q. 山小屋では石鹸を使っちゃいけないの?!

「環境保全のため、石鹸や歯磨き粉の使用は慎んでください。お風呂があるだけでも贅沢と心得て!山小屋は自家発電のため消灯が早く、充電もNG。控えの電源やヘッドランプを用意しておきましょう。また宿泊予約はもちろん、早めの到着を心がけて。山中は携帯電話が通じません。遅くなると山小屋の方に心配をかけるだけでなく、山小屋や登山センターによる搜索開始なんて事態になることも!(庄野)」

「山小屋とは本来簡素なもの。大杉谷の山小屋は設備が整っていますが、過剰なサービスを求めるのはマナー違反。モノに恵まれた都会とは違う非日常を楽しみましょう(山本)」



山の夜は冷えるので、寒がりさんは薄手のフリースなどの用意を

Q. 一人では不安。一緒に登ってくれる人を見つけない



山で料理をしたい、など希望に応じた登山プランを提案します

大台ヶ原をプラスした2泊3日登山も提案しますよ!

「大杉谷登山センター(P21)が主催する登山イベントを利用するといいですね。また、私たちがマンツーマンからグループ登山までガイド依頼に対応していますので、よろしければ問い合わせください(庄野)」

「山を舞台に登山者が主役の気分になれるガイドを心がけています。登山のライブ感を心ゆくまで味わっていただきますよ!(山本)」

ガイド問合せ・申込み先

山本道夫

Mail: yamayama-55@hotmail.co.jp

Blog: <http://yamayama55.blog.eonet.jp/weblog/>

庄野初美

Mail: hacpcphyi@yahoo.co.jp

WEB: <http://yama-to-nadesiko.com/>

撮影協力:ロッジ大阪店

登山前後のお楽しみ！食べて帰って・持って帰って

ご当地グルメ&スーベニール

大杉峡谷登山バス利用で立ち寄ることができる道の駅や奥伊勢フォレストピアのほか、山小屋で入手可能なグルメやお土産を紹介します。

※登山バスは奥伊勢フォレストピアでの長時間停車はいたしません

▲ 道の駅グルメ

大杉峡谷登山バスのスタート地点である「道の駅奥伊勢おおだい」は、大杉谷入り登山の起点。ここで地元の美味しいお弁当や、清流ドリンク、行動食にもなるスイーツを手に入れば、大杉谷登山もますます楽しめるというものです！

●入所可能場所:道の駅奥伊勢おおだい



Food

地元産の新鮮な食材を使ったお弁当は種類もいろいろ、値段もお手頃です♪

Drink



水だけできて
便利で美味しい
「ふっ茶お？」は
お土産にも重宝♪

推薦人:大台町役場職員
上瀬裕美さん

伊勢神宮に奉納された歴史を持つ大台茶を、手軽に楽しめる水出しティーパックが「ふっ茶お?」。ペットボトルに入れやすい縦長タイプなので、清流宮川の水を詰めた「森の番人」に差し込めば、登山の頃には美味しい水出し緑茶が完成! 水は山中でも補給できるので、登山のお供にぜひ。



●Price:ふっ茶お? 5本入り 470円・森の番人ペットボトルセット 210円

Sweets

大台茶を贅沢に使用した大台スイーツは、甘みとお茶の苦みが相まって美味。また、よもぎ入りのおはぎ「ないしょ餅」、つぶあんざっしり大福餅「ぼっちゃり餅」、朴葉で包んで蒸した「朴の木だんご」は地元で昔から伝わる、手作りの味です。

大台茶がスイーツに!
お土産はこれで
決まり!



推薦人:奥伊勢フォレストピア
パティシエール 中西友美さん



▲ 大杉谷木製ピンバッジ

古くは伊勢神宮の式年遷宮に使われた大杉谷山系の樹木。その間伐材から作られた、ありがたくもエコなピンバッジ。大杉谷に生息するカモシカ、ヤマガラ、シャクナゲなどがモチーフ。種類を変えて山小屋など3カ所でも販売しているので、ぜひコンプリートしてみてください。

●入所可能場所:大杉谷登山センター・桃の木山の家・栗谷小屋
●Price:500円



※デザインや種類は変更される場合があります

山小屋オーナー
になる前は私人だった
私が整備しています



推薦人:栗谷小屋
オーナー 塩崎康弘さん

▲ 山小屋手ぬぐい

汗拭きによし、日差しよけによし、緊急時には裂いて包帯代わりになる手ぬぐいは、登山アイテムとしても優れたもの。桃の木山の家では、大杉谷の滝をイメージした手ぬぐいを販売中。山小屋スタッフも愛用しています。

●入所可能場所:桃の木山の家・大杉谷登山センター
●Price:800円

帽子代わりに
被っても
可愛いよ!



推薦人:桃の木山の家
スタッフ 弘田理奈さん



▲ 清流で作られた地酒

文化二年(1805年)創業。宮川の流れと自社の田地の米から作られた日本酒は、大台町民に愛され「プレゼントに喜ばれる逸品」との証言も。泡の出る「吟生にがり酒」は早い者勝ちの季節限定品。また和りキュール「オレンジベアー」など女子向けラインも。桃の木山の家では花柄が可愛いカップ酒「東獅子」を楽しめます。

フルーティーな
純米酒は女性にも
オススメです



推薦人:元坂酒造
元坂新平さん



●Price:
オレンジベアー(720ml)1440円
吟生にがり酒(720ml)1543円

●元坂酒造:三重県多気郡大台町柳原346-2
●入手可能場所:道の駅奥伊勢おおだい・奥伊勢フォレストピア・元坂酒造
※取り扱い銘柄は場所によって異なります

※価格は2014年4月時点のものです。変更となる場合があります

大杉谷登山を
もっと楽しくする
施設を紹介!

知ってる? 秘境がある町のポテンシャル

アウトドアリゾート 大台町 *Odai-sho*

大杉谷のある大台町は、水辺の遊びや

キャンプサイトにも恵まれたアウトドアリゾート地。

大杉谷にいたるまでにも、さまざまなお楽しみスポットがあるんです。

大杉谷だけじゃもったいない! もっと大台町を遊び尽くしましょう!



登山道の最新情報はココで!

大杉谷登山センター



大杉谷の安全を守るスタッフが常駐するセンター。大杉谷の最新情報はここで確認! 2階の休憩スペースも利用できます。また大杉谷登山センターと大杉谷登山口の間は、レンタサイクル利用も可。詳しくは問い合わせを。

大杉谷登山センター
TEL: 0598-78-3338
住所: 三重県多気郡大台町大杉140-40
大杉谷登山口から約10km



大杉谷・大台町の観光起点!

道の駅 奥伊勢おおだい



大杉峡谷登山バスの乗り場がある道の駅奥伊勢おおだい。登山前のお弁当やお土産調達に大活躍。地元の農産物や加工品はもちろん、鹿肉を使ったハンバーグやおおだいバーガーも楽しめます。

道の駅奥伊勢おおだい
TEL: 0598-84-1010
住所: 三重県多気郡大台町佐原663-1
大台大宮ICより車で約3分



アウトドアイベント produce by

大台町観光協会



登山以外のアウトドアも楽しみたいという方は、大台町観光協会に問い合わせを。清流宮川やダム湖でのカヤックツーリングを主催するほか、キャンプ地の紹介、林業体験や狩猟体験など、さまざまなアクティビティを紹介してくれます。



大台町観光協会
TEL: 0598-84-1050
住所: 三重県多気郡
大台町佐原663-1
道の駅奥伊勢
おおだい敷地内



大杉谷林間キャンプ村
TEL: 0598-78-3453
住所: 三重県多気郡
大台町大杉159-21
大杉谷登山センターより
車で約7分

日帰り温泉で疲れを癒そう

奥伊勢フォレストピア

大台町にある温泉宿泊施設。和室・洋室のほか、グループ利用が可能なコテージも! 温泉は日帰り入浴も可能なので、登山後の疲れを癒すのにも利用できます。宿泊すればジビエ料理も楽しめますよ。また、ホテルからの無料送迎で大杉谷登山を楽しめるプランもあるので(平日限定/4名~20名迄)、大杉谷上り登山の前泊、下り登山の後泊に利用するのもオススメです。詳しくはWEBまたは電話にて問合せを!



奥伊勢フォレストピア
TEL: 0598-76-1200
住所: 三重県多気郡大台町園993
道の駅奥伊勢おおだいより車で約15分



発行/2014年4月25日 発行所/大台町・近畿日本鉄道 観光・レジャー事業部
問い合わせ先/大台町観光協会 〒519-2404 三重県多気郡大台町佐原663-1 TEL 0598-84-1050